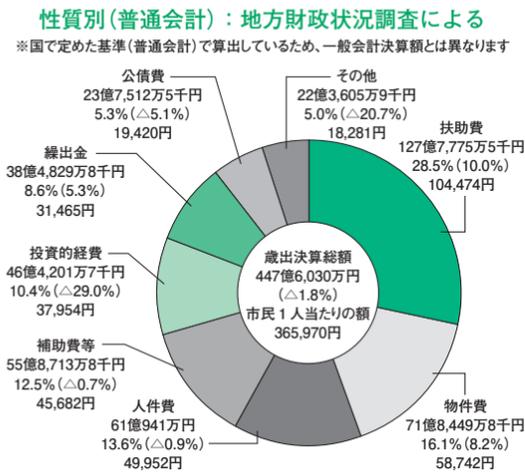
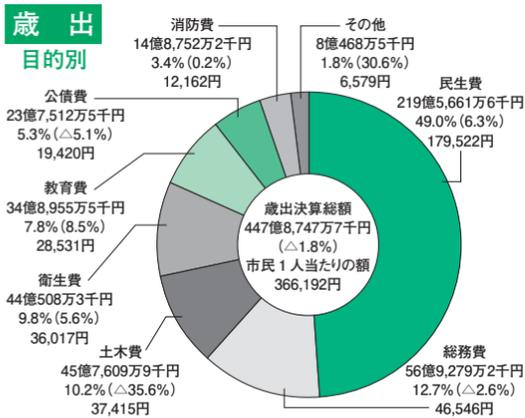
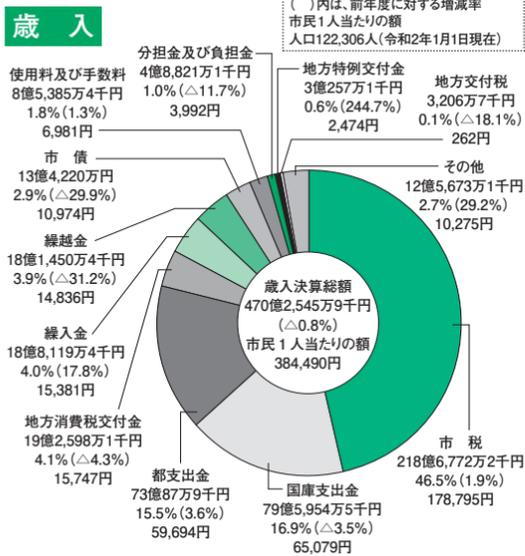


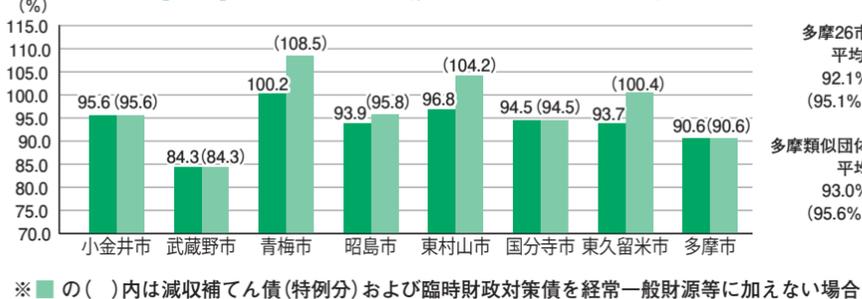
令和元年度決算の概要

「選ばれるまち小金井市」をめざして 最少の経費で最大の効果を

【図A】一般会計決算状況



【図B】経常収支比率(多摩類似団体との比較)



※ ()内は減収補てん債(特例分)および臨時財政対策債を経常一般財源等に加えない場合

特別会計決算状況

区分	当初予算額	補正予算額	最終予算額	歳入決算額	歳出決算額	形式収支
国民健康保険	10,137,739	179,832	10,317,571	10,203,485	10,159,432	44,053
下水道事業	1,582,680	71,059	1,653,739	1,653,421	1,216,018	437,403
介護保険	8,477,608	△92,326	8,385,282	8,199,348	8,192,498	6,850
後期高齢者医療	2,678,841	△4,444	2,674,397	2,651,954	2,628,544	23,410
合計	22,876,868	154,121	23,030,989	22,708,208	22,196,492	511,716

特別会計

国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の4つの特別会計を設置してこれらの経理を明確にしています。(左表)

取り残さない「持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現、まちへの誇りや愛着を醸成し、市の将来像を次世代に引き継げるよう取り組んでいくこと」をいたします。

一般会計

令和元年度は、歳入の根幹となる市税収入が納税義務者数の増等により個人市民税が増、固定資産税も負担水準の上昇等により増となりましたが、地方消費税交付金等の税連動交付金が減となり、引き続き財政調整基金の大幅な取り崩し等に頼った運営となっています。

予算規模は、当初予算438億2千500万円に9回の補正予算28億3千200万1千円を加え、総額466億5千700万1千円でした。これに対する決算額は、歳入総額が470億2千549万9千円、歳出総額が447億8千747万9千円、歳入対歳出が108.5%の増となりました。

経常収支比率は、前年度の96.4%から95.6%になりました。算定式の分母となる

現在、市は第4次基本構想の最終ステージであり、新たな時代の年度スタートとして

差引いた実質収支は22億2千512万7千円となり、前年度から4億1千62万3千円の増となりました。この結果、実質収支比率は9.9%となりました。

一方、分子となる経常経費に充当する一般財源等は、扶助費、物件費、繰出金が増となったことから、全体で約2億9千900万円の増となり、0.8ポイントの減となりました。

経常一般財源は、市税収入が増となったことから、全体で約4億8千800万円の増となりました。

「令和元年度小金井市一般会計・特別会計歳入歳出決算書」(一部2千100円)は会計課(市役所第二庁舎1階)で、「令和元年度主要な施策の成果に関する説明書・基金の運用状況に関する調査」(一部千円)は、財政課で販売しています。

なお、決算書等は、図書館本館および情報公開コーナー(市役所第二庁舎6階)でご覧いただけるほか、市ホームページでも公開しています。

市では、納めていただいた市税がどのように使われているか、財政に関する事項の理解を深めていただくため、定期的(年2回)に財政状況を公表しています。

今回お知らせするのは、令和元年度の決算概要および令和2年度上半期(4月1日～9月30日)の状況です。(6～8面にも掲載)

問 財政課 財政係(市役所本庁舎2階) ☎042-387-0800